



総合的な待機児童対策

◇事業目的

区では、認可保育園、小規模保育事業等、認証保育所、幼保一体施設の開設等多様な施策により、平成 22 年度から平成 28 年度までに 4,463 人の受入れ拡大を実現してきた。平成 27 年から平成 28 年にかけての乳幼児人口の増加数は 23 区で 2 番目となっており、入園申込者数が増加傾向にある。このため待機児童数は平成 28 年 4 月現在で 178 人（昨年同期 215 人）となっている。平成 29 年度に過去最多の受皿を拡大したが、引き続き待機児童ゼロを目指して総合的な待機児童対策を推進するため、新規開設にともなう各種補助を拡充し、定員拡大を図る。

◇事業内容

1. 平成 29 年度拡大枠 1,044 人（過去最多）

項目	拡大枠	施設数/名称	時期
区立保育園 開設	60 人	1 園	
	60 人	(仮)ひがしやつやま保育園	4 月
私立保育園 開設	887 人	11 園	
	100 人	(仮)まなびの森保育園西大井	4 月
	73 人	(仮)えがおの森保育園・かつしま	4 月
	70 人	(仮)このえ中延保育園	4 月
	90 人	(仮)キッズガーデン北品川	4 月
	90 人	(仮)キッズガーデン南大井	4 月
	64 人	(仮)ひがしおおいさくらさくほいくえん	4 月
	108 人	(仮)大空と大地のな一さりい東五反田園	4 月
	80 人	(仮)青物横丁えほん保育園	4 月
	80 人	(仮)西大井えほん保育園	4 月
	60 人	(仮)モニカ荏原中延保育園	8 月
	72 人	(仮)にじいろ保育園南大井	10 月
私立保育園 定員拡大	27 人	1 園	
	27 人	石井保育園	8 月
認証保育所 開設	70 人	2 施設	
	40 人	(仮)鮫洲かがやき保育園	4 月
	30 人	(仮)ユニバース・ナーサリー大森	4 月

2. 平成 30 年度拡大枠 535 人 ※施設名称、開設時期はいずれも未定

- (1) 私立保育園 開設 拡大枠：480 人、施設数：6 園
- (2) 小規模保育事業 開設
 - ・家庭的保育事業 拡大枠：3 人、施設数：1 施設
 - ・小規模保育事業 拡大枠：12 人、施設数：1 施設
 - ・事業所内保育事業 拡大枠：未定(19 人以内)、施設数：1 施設
- (3) 認証保育所 開設 拡大枠：40 人、施設数：1 園

問い合わせ：子ども未来部 待機児童対策担当課長 電話 03-5742-6540
 保育施設調整担当課長 電話 03-5742-6037

総合的な待機児童対策

～都市公園と競馬場駐車場内に保育園開設～

◇事業目的

待機児童対策の取り組みを強化するため、国家戦略特別区域法改正による「都市公園占用保育所等施設設置事業」を活用し、また、引き続き民間事業者の提案による認可保育園等の開設を支援し、待機児童対策の受け入れ拡大を図る。

◇事業内容

1. 都市公園内における保育園開設

西大井広場公園は、昭和 55 年に開園した。施設の老朽化が進んでいることに加え、地元から東側区道の安全対策について要望があり、改修工事が計画されていた。当改修計画に合わせ「都市公園占用保育所等施設設置事業」を活用し、公園の一部を利用して保育園を開設する。

- (1)開 設 地 西大井広場公園内(西大井 1-4-1)
- (2)園 名 (仮称)まなびの森保育園西大井
- (3)設 置 者 (株)こどもの森
- (4)定 員 100 人
- (5)開設時期 4 月



2. 競馬場駐車場内における保育園開設

大井競馬場周辺地域は、近年、大規模マンションの建設や国家公務員宿舍の建て替え等が進んでおり、保育需要が高まっている。区長から区内事業者へ保育園用地の提供を打診したところ、東京都競馬(株)より、地域貢献の観点から一部敷地を提供する申し出があったため、当該敷地を活用して保育園を開設する。

- (1)開 設 地 大井競馬場 第3駐車場(勝島 1-6-32)
- (2)園 名 (仮称)えがおの森保育園・かつしま
- (3)設 置 者 (株)千趣会チャイルドケア
- (4)定 員 73 人
- (5)開設時期 4 月





【新規】中学校跡地の有効活用

～待機児童対策等の喫緊課題への対応～

◇事業目的

旧荏原第四中学校の跡地について、既存校舎・校庭・体育館を有効活用し、喫急の課題である待機児童対策等、必要な行政需要へ財政負担の抑制を図りながら対応する。

◇事業内容

待機児童対策としての保育園設置、近隣の老朽化した保育園の建て替え時の一時移転用地、戸越台複合施設改修時の中学校部活動等における活動補完場所の3点を軸に、5年程度の暫定活用を基本とした活用案の検討を進める。

1. 旧荏原第四中学校跡地の概要

(1)所在地 豊町3-5-31

(2)敷地面積 8,472.69 m² (施設延床面積 校舎：2,191 m² 体育館：830 m²)



2. 暫定活用案

- (1)待機児童対策としての保育園（約100人）
- (2)老朽保育園の改築に伴う一時移転仮設園舎
- (3)戸越台複合施設の改修時の中学校活動補完場所
- (4)地域住民等の利用（上記の利用場所・時間帯以外）

3. スケジュール

平成29年度	基本設計・実施設計および利用方法の具体化
平成30年度	改修・建設工事
平成31年4月	開設・利用開始

◇事業予算 51,070千円

(内訳)	園舎および仮設園舎基本設計、実施設計	25,330千円
	活用準備工事（自動火災報知機・敷地境界改修）	25,740千円

問い合わせ：企画部

企画調整課長

電話 03-5742-6905

子ども未来部

待機児童対策担当課長

電話 03-5742-6540

子ども未来部

保育施設調整担当課長

電話 03-5742-6037

私立保育園・小規模保育事業等・認証保育所の新規開設支援

◇事業目的

区では、認可保育園、小規模保育事業等、認証保育所、幼保一体施設の開設等多様な施策により、平成 22 年度から平成 28 年度までに 4,463 人の受入れ拡大を実現してきた。平成 27 年から平成 28 年にかけての乳幼児人口の増加数は 23 区で 2 番目となっており、入園申込者数が増加傾向にある。このため待機児童数は平成 28 年 4 月現在で 178 人（昨年同期 215 人）となっている。平成 29 年度に過去最多の受皿を拡大したが、引き続き待機児童ゼロを目指して総合的な待機児童対策を推進するため、新規開設にともなう各種助成を拡充し、定員拡大を図る。

◇事業内容

1. 開設経費補助

(1) 施設整備等補助（認可保育園、認証保育所）

① 認可保育園 対象経費上限：保育所の定員規模により設定（補助率：15/16）

② 認証保育所（開設前家賃含む）対象経費上限：1 施設あたり 7,000 万円（補助率：15/16）

(2) 開設前家賃補助（認可保育園） 上限：1 施設あたり 4,100 万円（補助率：7/8）

(3) 開設準備経費補助（認可保育園）【区独自補助】

対象経費：補助対象外経費の 1/16（事業者負担分）の 1/2 を補助（補助率：1/32）

2. 認可保育所等の家賃補助 【区独自補助】

東京都は「待機児童解消に向けた緊急対策」として、開設から 5 年間の家賃補助を創設したことから、都と区の現行の補助（家賃月額のうち、坪単価 1 万 2 千円を超える額を補助（上限額 1 坪 1 万円）補助期間は都と同様の 5 年間）を比較して、補助金額が高い方を採用して 5 年間補助する。また、平成 30 年 4 月 1 日に開設する保育園に対しては、補助期間を 5 年から 10 年に延長する。6 年目以降の補助金は、区の単独補助とし、補助額は上記の区補助金の半額を補助する。

3. 小規模保育事業等の開設経費補助

(1) 開設補助 ① 家庭的保育事業 20 万円（上限額）

② 小規模保育事業 360 万円（上限額）

③ 事業所内保育所 600 万円（上限額）（補助率：2/3）

(2) 開設前家賃補助 小規模保育事業 定員 1 名あたり 2 万円×2 カ月分

◇事業予算 1,602,751 千円

(内訳)	開設経費補助(認可保育園 6 園、認証保育所 1 園)	1,321,862 千円
	認可保育所等の家賃補助	272,609 千円
	小規模保育事業等の開設経費補助	8,280 千円

問い合わせ：子ども未来部 待機児童対策担当課長 電話 03-5742-6540



【新規】認可外保育施設の保育料助成制度の創設

◇事業目的

区は、認可保育所、地域型保育事業の入園申込みを行い、入園できなかった児童の保護者が、認可外保育施設（認証保育所を除く）を利用する場合に、月額で0歳児5万円、1歳児4万5千円、2～5歳児4万円の保育料助成を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図る。

◇事業内容

認可保育所等に入園できなかった児童の保護者が認可外保育施設（認証保育所を除く）を利用する場合、児童福祉法の認可基準（人員配置、面積等）を満たしていないが、東京都の指導監督基準を満たす施設について、保育料の一部を助成する。

1. 対象施設

区内の認可外保育施設（ベビーホテル・その他施設）19施設のうち、11施設（東京都の認可外保育施設の指導監督基準を満たす旨の証明書が交付された施設。平成29年1月末現在）

※同基準の区外施設を区民が利用した場合も助成対象とする。

2. 利用要件

- (1) 認可保育所、地域型保育事業の入園申込みを行い、保育の必要性の認定を受けたが入園不承諾となっていること。
- (2) 認可外保育施設を月160時間以上の月極め契約で利用し、保育料を滞納していないこと。

3. 助成月額（上限）

0歳児	50,000円
1歳児	45,000円
2～5歳児	40,000円

4. 実施期間

平成29年度から平成31年度まで（3年間の時限的措置として実施）

◇事業予算

105,132千円

(内訳)	保育料助成金	105,000千円
	事務用経費	132千円

保育士等人材確保支援

～私立保育園の保育士等の処遇改善の充実～

◇事業目的

区は、認可保育所、地域型保育事業、認証保育所の開設支援により、総合的な待機児童対策を進めているが、保育施設で働く保育士等の人材確保、離職防止が運営上の喫緊の課題となっているため、保育士等の人材確保支援のより一層の充実を図る。

◇事業内容

1. 公定価格における処遇改善等加算・保育士等キャリアアップ補助金

- (1) 公定価格に基づく運営費のうち保育士等の賃金改善分として処遇改善等加算を支給
対象施設 私立認可保育所、地域型保育事業
- (2) 公定価格による処遇改善等加算に加え、更なる賃金改善を実施した場合に、保育士等キャリアアップ補助金を支給
対象施設 私立認可保育所(社会福祉法人立を除く)、地域型保育事業、認証保育所等

2. 保育従事職員宿舍借り上げ支援事業

- (1) 拡充内容
採用5年以内の職員に加え、6年目以降の職員を含めた全職員に拡大
- (2) 事業概要
保育従事職員のために事業者が宿舍を借り上げた場合に、家賃等経費の一部を補助
対象施設 私立認可保育所、地域型保育事業、認証保育所等
対象職員 常勤の保育従事職員（常勤の施設長、保育士、保育補助者、調理員、看護師等）
対象経費 家賃、共益費、管理費、礼金・更新料
補助内容 上限額 月額82,000円（一戸当たり）
補助率 8分の7

◇事業予算

954,249千円

(内訳)	公定価格に基づく処遇改善等加算	443,765千円
	保育士等キャリアアップ補助金	285,676千円
	保育従事職員宿舍借り上げ支援事業補助金	224,808千円



【新規】児童センターを活用した子育て支援の拡充

◇事業目的

近年、近隣住民同士の関係が希薄になり、日中、母子だけで過ごし、育児不安などに悩む若い母親への支援が求められている。これまで児童センターでは、各種の親育ち支援事業を展開し、母親・父親への支援に努めてきた。さらに、在宅での子育て力向上を目指し、児童センターを活用し、安心して子育てができるための支援を拡充し、育児不安の解消を図る。

◇事業内容

1. 三世代交流こみゅにていランチ

子ども、高齢者、在宅子育て中の母親の三世代が一緒に食事をし、世代を超え交流できる場を提供。高齢者にはランチ作り、乳幼児の遊び相手、母親の話し相手など、活躍の場とし、在宅子育て中の母親には、孤立、育児不安、家事負担、不満などの軽減・解消・予防の一助とする。

2. 体験児童センター「プチ親子のひろば」

生後 1～2 カ月の赤ちゃんとも母親の集う保健センターが実施する「親子の集い」内で、体験児童センター「プチ親子のひろば」を実施。子育てネウボラ相談員の案内等、児童センターの活動を体験する。特に初産の母親に児童センターの子育て支援事業や子育て相談事業の認知度向上を図る。

3. ベビーサロンの整備

児童センター初の 0～2 歳児親子（プチママ）および妊婦（プレママ）専用の「ベビーサロン」を水神児童センターに整備。「木育」をコンセプトに、遊具等を木製に統一し、木の香りやぬくもりに触れ、赤ちゃんもママもリラックスできる環境を提供する。また、妊娠期から 0 歳保護者対象の「プレママ・プチママタウン」参加者の交流の場とする。

◇事業予算

863 千円

(内訳)

三世代交流こみゅにていランチ 263 千円

体験児童センター「プチ親子のひろば」 200 千円

ベビーサロンの整備 400 千円



問い合わせ：子ども未来部 子ども育成課長 電話 03-5742-6719

しながわネウボラネットワーク事業

オアシスルーム（生活支援型一時保育）の増設

◇事業目的

区では、在宅で子育てをしている保護者が、リフレッシュや通院などの理由により、短時間の一時保育が必要となった場合に、区内9カ所のオアシスルーム（生活支援型一時保育）施設にて、一時預かり事業を実施している。

近年、利用者が増加しており、ニーズが高まってきていることから、2カ所を新規開設し、在宅子育て家庭への支援拡充を図る。

◇事業内容

1. ものづくり創造センター内オアシスルーム（4月開設）

- (1)所在地 大井4-29-22
- (2)対象 生後4カ月から就学前の健康な児童
- (3)定員 12人
- (4)開館 月～土曜日（毎日9時間）
- (5)運営方法 事業委託
- (6)スケジュール 平成28年度中に改修工事終了
- (7)その他 地上4階建ての1階部分
2階：ものづくり創業センター、3・4階：災害対策職員待機寮

2. 平塚ゆうゆうプラザ内オアシスルーム（平成31年4月開設）

- (1)所在地 平塚2-10-20
- (2)対象 生後4カ月から就学前の健康な児童
- (3)定員 12人
- (4)開館 月～土曜日（毎日9時間）
- (5)運営方法 事業委託
- (6)スケジュール 実施設計、工事着手
- (7)その他 地上2階建ての2階部分
1階：ほっとサロン等の高齢者施設

◇事業予算

125,673千円

(内訳)	ものづくり創造センター内オアシスルーム運営経費	32,173千円
	平塚ゆうゆうプラザ内オアシスルーム開設経費	93,500千円

問い合わせ：子ども未来部 保育課長 電話 03-5742-6722
福祉部 高齢者地域支援課長 電話 03-5742-6732



病児保育室の定員拡大

◇事業目的

区では、子どもが病気で集団保育が難しい場合でも、子育てと就労を両立させたいというニーズに応えるため、平成 17 年から医療機関併設の保育室で一時的に子どもを受け入れる病児保育事業を実施してきた。

近年の利用者ニーズの増加に対応するため、保育士を増員することで施設の定員を拡大する。

◇事業内容

1. 実施機関 病児保育チャイルドサンタ（サンタハウスこどもクリニック）
2. 所在地 小山 3-1-2
3. 対 象 生後 6 カ月から就学前で、保護者が就労により家庭で看護できない園児
4. 定 員 1 日 4 人から 8 人に増員する
5. 利用時間 月～金曜日 午前 8 時 30 分～午後 6 時
6. 費 用 1 日 2,000 円（食事は持参）
7. その他 要事前登録。入院加療が必要な重い症状や感染力が強い伝染病など利用不可の場合あり。

◇事業予算 1, 8 1 2 千円

子どもの未来応援プロジェクト

【新規】未来を拓く学習支援

◇事業目的

「子供の貧困対策に関する大綱（平成 26 年 8 月 29 日閣議決定）」を受け、区では平成 28 年 6 月、品川の子どもの将来が生まれ育った環境や親の経済状況で左右されることのないように、「子どもの未来応援プロジェクト検討委員会」を創設。

自宅で勉強できる環境が整っていない家庭に対し、自学自習に関する支援や場を提供することで、教育の機会均等を図る。

◇事業内容

1. 子どもへの支援

- (1) 学習支援ボランティアがサポートする自習室を開設し、計画的な学習の場を提供
(月曜～金曜 午後 6 時から 8 時)
- (2) 現役大学生等の講師による学習指導（週 2 日程度）と進路相談
- (3) 子どもの交流および大学キャンパスや区内企業の見学

2. 親への支援

- (1) 区相談員による面談、修学資金の準備に向けた情報提供
(必要に応じ資金調達の助言、相談窓口案内)
- (2) 子ども・親との面談など進学に必要なサポート

3. 対象

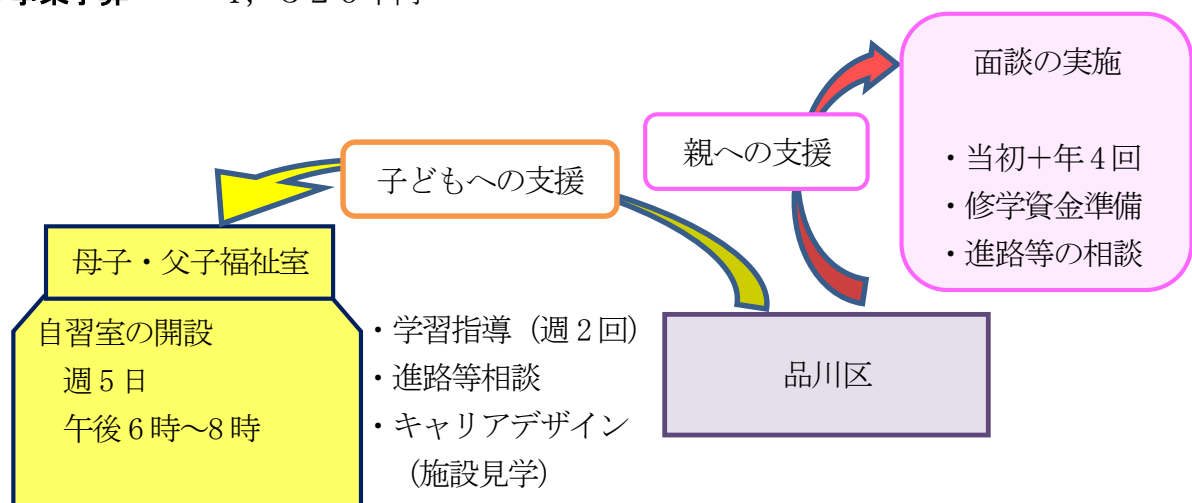
- (1) ひとり親家庭等対象の学習支援事業に参加しており進学を目指す高校生とその親
- (2) 生活保護、生活困窮世帯で進学を目指す高校生とその親

4. 人数 10 組

5. 場所 母子・父子福祉室（JR 大井町駅前のきゅりあん内）

◇事業予算

4, 3 2 0 千円



問い合わせ：子ども未来部 子ども家庭支援課長 電話 03-5742-6383



子どもの未来応援プロジェクト

【新規】子ども食堂開設・ネットワーク支援

◇事業目的

地域のコミュニティの中で子どもを育てていく効果的な拠点として期待できる子ども食堂の開設を支援し、フードバンクなどの地域のネットワークを構築することで、民間活動の活性化と子どもの居場所づくりを図る。

◇事業内容

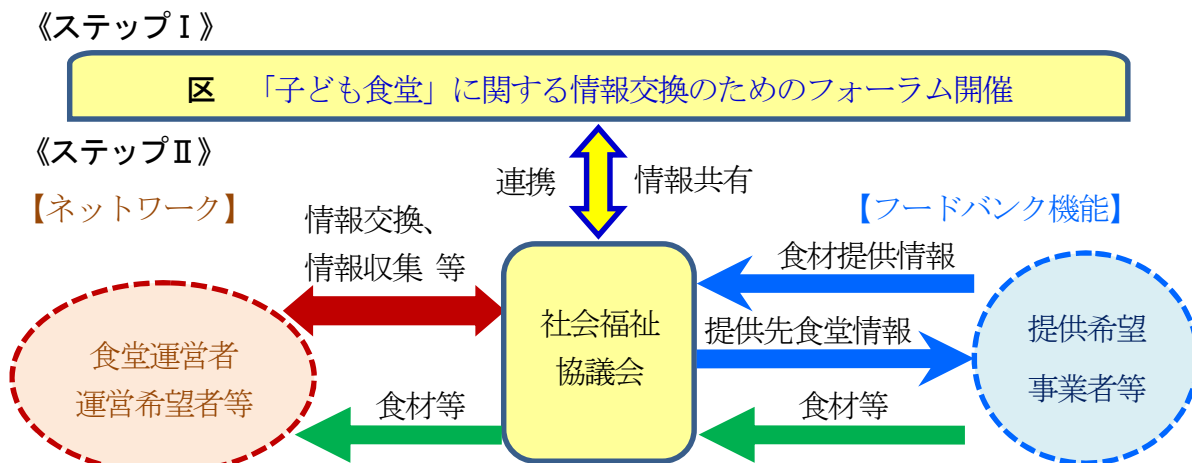
1. ステップⅠ「子ども食堂」に関する情報交換のためのフォーラムを開催

- (1)対象 子ども食堂やフードバンクの取り組みに興味がある者
- (2)内容 ①「子ども食堂」運営者による講話と意見交換会
②保健所による食品衛生に関する基礎講座
③参加者の交流会

2. ステップⅡ（仮称）品川区子ども食堂ネットワークの構築

- (1)対象 ①区内で子ども食堂を開設している者
②子ども食堂に関心がある区民・事業者
③食材、資材等の提供希望者・事業者
- (2)内容 ①子ども食堂に関わる団体・個人・事業者ネットワークの構築
②食堂運営者・運営希望者やボランティア希望者とのマッチング機能の構築
③フードバンク機能の構築準備

◇事業予算 1, 6 1 0 千円



問い合わせ：子ども未来部 子ども家庭支援課長 電話 03-5742-6383

【新規】元プロ野球選手による園児親子ベースボールフェスタ

◇事業目的

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技種目である「野球」の体験を通して、スポーツの楽しさを身近に感じ、スポーツへの関心を高めてもらう。

また、体を動かす楽しさを感じてもらうことにより、子どもの体力向上を図る。

◇事業内容

元ヤクルトスワローズ宮本慎也選手（区内在住）による、親子でスポーツの楽しさを体験する野球イベントを開催する。

対象は、公私立保育園・幼稚園の5歳児およびその保護者。

平成 28 年度から、同選手がボランティア講師を務め、園児でも安全に遊べるスポンジ状のボールや振ると音のなるミニバットを使い「ボールを投げる」「ボールを打つ」を体験するほか、「サインゲーム」など野球の基本を楽しく学べる野球教室を開催している。

◇事業予算

227千円

(内訳)

横断幕等消耗品費

200 千円

会場使用料等

27 千円

平成 28 年 5 月 北品川第二保育園での野球教室の様子



問い合わせ：子ども未来部 保育課長 電話 03-5742-6722

しながわ区民公園プレイパーク開設

◇事業目的

区では、子どもが豊かな外遊びをする機会を提供するため、平成 14 年度より北浜公園（北品川 2-28）内でプレイパーク「北浜こども冒険ひろば」事業を開始。平成 29 年度は、区内 2 カ所目のプレイパークを開設し、子どもたちの自主性や創造性、自己責任の意識、体力増進等を図る。

◇事業内容

プレイリーダーが、子どもたちの興味や関心を引きだし、自然環境の中での外遊びを援助する。また、乳幼児親子が野外活動に親しめるよう午前中から実施する。

1. 名 称 しながわこども冒険ひろば
2. 実施場所 勝島 3-2-2 しながわ区民公園内
3. 開設時期 5 月
4. 実施日時 月曜から水曜・土曜・日曜、および祝日にあたる木曜・金曜
午前 10 時 30 分～午後 5 時 30 分
5. 取り組み 土いじり（泥んこ遊び）体験・火おこし体験、水遊び・木工作など

◇事業予算	17,700 千円
(内訳)	
運營業務委託料	17,000 千円
開設準備等経費	700 千円

「北浜こども冒険ひろば」の様子



わっくわくランドしながわ

～児童センター設立 50 周年～

◇事業目的

昭和 41 年に最初の児童センターが開館して 50 年を迎えた。児童センターでは、地域との協働のもとに、親育ち・子育て支援の取組を充実させるとともに、次代を担う青少年の育成に取り組むことで、家庭や地域における子育て力の向上に努めている。50 周年を記念して、「子育て支援・児童健全育成」事業を総合的に発信し、児童センターの活動と事業を広く周知することで、すべての世代へ事業参加促進のきっかけとする。

◇事業内容

区内全 25 児童センターが合同で、児童福祉週間のある 5 月に屋外型イベント「第 2 回わっくわくランドしながわ」を開催する。

1. 日 程 5 月 14 日(日)
2. 会 場 しながわ中央公園、多目的広場、中小企業センタースポーツ室
※雨天時は第三庁舎講堂や中小企業センター
3. プログラム 体験イベント、ステージ、ミニ JR 電車、雪あそびほか
児童センター設立 50 周年のあゆみの紹介コーナー
児童センター・子育て支援事業の情報発信コーナー

◇事業予算 4, 7 6 7 千円

「第 1 回わっくわくランドしながわ」の様子





子どもがつなぐ都市間交流

～ 早川町・宮古市・坂井市 ～

◇事業目的

品川区と友好・交流関係にある自然豊かな山梨県早川町、岩手県宮古市、福井県坂井市の三都市と、自然に関連する事業を通じて区内の子どもたちの情操を育み、青少年健全育成に寄与する。

◇事業内容

1. 積み木のワークショップ（山梨県早川町）

ふるさと交流協定を結ぶ早川町の間伐材でできた積み木1万個を使用した積み木ワークショップ「森の積み木広場」を児童センターで開催する。森を五感で感じる心豊かな情操を育み、自然環境への関心や地球温暖化防止への意識を高める。

2. 親子体験交流事業（岩手県宮古市）

災害援助協定を結ぶ宮古市を小学生親子が訪問し、震災遺構の見学や震災ボランティアによる語り部体験などを行う。子どもたちの防災意識を啓発するとともに、豊かな自然体験を通じて親と子がふれあい、また、宮古市の子どもたちとの交流により、健全育成を図り、宮古市に復興支援のエールを送る。

3. ジュニア・リーダー教室サマーキャンプ（福井県坂井市）

特別区全国連携プロジェクトを機に区との連携事業を展開している坂井市で、小学4年生から中高生およそ150人が参加するジュニア・リーダー教室サマーキャンプを実施する。自然豊かな環境の中で、青少年の地域や学校におけるインリーダーの資質を育むとともに、地方創生の一助とする。

◇事業予算

3,840千円

(内訳)

積み木のワークショップ（早川町）

290千円

親子体験交流事業（宮古市）

1,000千円

ジュニア・リーダー教室サマーキャンプ（坂井市）

2,550千円

山梨県早川町



積み木のワークショップ
児童センター

岩手県宮古市



震災メモリアルパーク
宮古市

福井県坂井市



ジュニア・リーダー教室
サマーキャンプ

問い合わせ：子ども未来部 子ども育成課長 電話 03-5742-6719

小学校と幼稚園の改築

◇事業目的

学校および幼稚園施設は、児童・幼児の学習の場であり、一日の大半を過ごす生活の場である。災害時には地域住民の避難所としても活用することから、その安全性の確保は重要である。このため、学校および幼稚園施設を改築し安全・安心で良好な教育環境をつくる。

◇事業内容

1. 芳水小学校の改築

平成28年度に引き続き、改築工事を行う。（平成30年12月：第Ⅰ期工事 竣工）

2. 城南小学校・城南幼稚園の改築

平成28年度に引き続き、実施設計と園舎の解体等を行う。

12月より改築工事を行う。（平成32年2月：校舎改築工事 竣工）

※改築後は小学校と園舎を一体化することにより、教育的連携と敷地の有効利用を図る。

3. 後地小学校の改築

改築工事に伴う実施設計等を行う。

平成30年度からの改築工事に備え、既存プール解体と仮設校舎建設等を行う。

※将来的なメリットを勘案し、改築にあたり校内敷地(約 5,900 m²)のうち国有地の約 3,300 m²を購入する。

4. 鮫浜小学校の改築

改築工事に伴う基本設計を行う。（平成30年度に実施設計）

◇事業予算 3,553,760千円

(内訳)	芳水小学校改築工事等	1,166,286 千円
	城南小学校・城南幼稚園改築工事等	1,026,974 千円
	後地小学校用地購入・改築工事实施設計等	1,287,400 千円
	鮫浜小学校改築工事基本設計	73,100 千円



芳水小学校完成予想図

問い合わせ：

(小学校について)	教育委員会事務局	学校計画担当課長	電話03-5742-6045
(幼稚園について)	子ども未来部	保育課長	電話03-5742-6722

校庭の人工芝生整備

◇事業目的

学校における校庭は、児童・生徒の体力向上のために不可欠な設備の一つである。このため、児童・生徒が安心して校庭を使用できるよう、十分な安全性と機能性のある校庭の整備を推進する。

◇事業内容

学校改築や校庭改修が必要な学校については、順次、校庭を「人工芝生」に整備する。

人工芝生の校庭は、土舗装と比較すると、転倒時に擦り傷などの怪我が少なく、降雨時の水はけが良く汚れにくいという特性がある。また、砂埃の発生が少ないため、児童・生徒だけでなく、近隣への砂塵飛散の抑制も期待できる。

1. 大井第一小学校（大井 6-1-32） 2,500 m²
2. 小山小学校（小山 5-10-6） 2,100 m²

◇事業予算 171,980千円

(内訳)	1. 大井第一小学校	(1) 工事費	110,000 千円
		(2) 設計・監理費	3,540 千円
	2. 小山小学校	(1) 工事費	57,000 千円
		(2) 設計・監理費	1,440 千円



平成 28 年度実施校 伊藤小学校

問い合わせ：教育委員会事務局 庶務課長 電話 03-5742-6822

ICT を活用したわかりやすい授業の全校展開

◇事業目的

学校に ICT (Information and Communication Technology「情報通信技術」) を活用した教育環境を整備し、より質が高く・わかりやすい授業を実践することにより、児童・生徒の理解力や学習意欲の向上を図る。

◇事業内容

1. 普通教室等への ICT 環境の整備

平成 26 年度、22 校に ICT を活用できる環境を整備した。残りの 24 校の普通教室等に電子黒板機能付きプロジェクタや書画カメラを設置する。

2. デジタル教科書を活用した「わかる授業」の展開

デジタル教科書と電子黒板の組み合わせ、映像・動画・音声を生かした視聴覚効果の高い授業を実践し、児童・生徒の学習理解度の向上を図る。

◇事業予算 241,949 千円

(内訳)	プロジェクタ機器等リース料	30,639 千円
	プロジェクタ設置工事費	80,590 千円
	電源工事費	48,290 千円
	デジタル教科書	38,200 千円
	マグネットスクリーン	22,800 千円
	運用サポート・校内研修	6,936 千円
	教育用 PC ソフトウェアライセンス	7,020 千円
	プロジェクタ用遮光カーテン	2,000 千円
	センターサーバ利用料	5,474 千円



問い合わせ：教育委員会事務局 学務課長 電話 03-5742-6827

タブレット端末と無線 LAN 導入 どこでもネット学習

◇事業目的

児童・生徒が ICT (Information and Communication Technology 「情報通信技術」) を活用することで、今後ますます進化する情報社会への適応力 (情報リテラシー) を身につけるとともに、学習意欲の向上を図る。

◇事業内容

1. PC 教室にタブレット端末の導入

小学校・中学校・義務教育学校の PC 機器の更新時期にあわせて、PC 教室にタブレット端末を 31 校に導入する。普通教室や体育館等に持ち出しての利活用など、新しい ICT 環境を実現する。

2. 小学校・義務教育学校 (前期課程) のパソコン増設

小学校・義務教育学校 (前期課程) 22 校の PC 教室の端末を現在の 20 台から 40 台へ増設し、児童が 1 人 1 台のコンピュータを使用できる環境を整備する。

※既に 1 人 1 台タブレット端末を配備している ICT 推進校 8 校については、キーボードとマウスを 40 台整備

3. 校内無線 LAN の整備

タブレット端末の導入に伴い、校内無線 LAN の環境を 8 校に整備する。 ※既整備 16 校

◇事業予算 194,219 千円

(内訳)	タブレット端末等リース料	44,030 千円
	校内無線 LAN 工事・運用サポート費	93,872 千円
	センターサーバー追加設定費	2,997 千円
	パソコン教室用物品 (OA デスク)	10,500 千円
	ソフトウェアライセンス	35,080 千円
	ICT 推進校タブレット端末設定費	7,740 千円



品川英語力向上推進プラン

◇事業目的

経済・社会等のグローバル化が進展する中、子どもたちが 21 世紀を生き抜くために、国際社会に通用する英語力を身に付ける必要性が高まっている。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催に伴い、ボランティア等として活躍できる人材の育成も求められている。区では英語教育のさらなる充実を図り、児童・生徒が英語を使ったコミュニケーション能力の向上を目指す。

◇事業内容

区は、全国に先駆けて 1 年生から 6 年生に「英語科」を新設。小学校の英語活動と中学校の英語教育をつなぐため、区独自のカリキュラムと教材を用い、子どもの実態に応じた統一的で一貫性のある「英語科」に取り組み、区全体で英語教育の推進を図っていく。

1. 小学校英語

26 年度からモデル実施している区独自の新カリキュラムを全校展開

- (1) JTE(日本人英語専科指導員)配置人数の増員
- (2) ジュニア・イングリッシュキャンプの全校実施

2. 中学校英語

- (1) 品川イングリッシュレッスン 500
パソコンで海外講師とマンツーマンの英会話授業
(1 回 25 分×年間 20 回)
- (2) グローバル人材育成塾
外国人講師による少人数の放課後英会話教室
- (3) イングリッシュキャンプ
育成塾のうち希望者を対象に 2 泊 3 日の宿泊英語体験
- (4) 効果検証テスト(GTEC)
一連の事業成果を見極めるテストを実施



JTE と担任による授業



品川イングリッシュレッスン 500 の授業

◇事業予算 266,351 千円

(内訳)	1. 小学校英語	206,856 千円	
	ALT 派遣・JTE 配置		189,071 千円
	ジュニア・イングリッシュキャンプ		16,434 千円
	新カリキュラム実施経費等		1,351 千円
	2. 中学校英語	59,495 千円	
	品川イングリッシュレッスン 500		11,000 千円
	グローバル人材育成塾		24,007 千円
	イングリッシュキャンプ		2,662 千円
	ALT 派遣・効果検証テスト(GTEC)等		21,826 千円



平和を次世代へ 「しながわ平和の花壇」 事業を推進

◇事業目的

区は、昭和 60 年に宣言した「非核平和都市品川宣言」の趣旨を踏まえ、平和の象徴とされるカンナの花を植える「しながわ平和の花壇」を区内各所に設置することで、核兵器廃絶と恒久平和確立の精神を広く区民に普及する。

◇事業内容

中学生広島平和使節派遣者の声をもとに、平成 26 年度に事業化した「しながわ平和の花壇」を平成 27 年度から 4 年計画で区内各所に設置する。

1. 新設

- ・ 29 年度（5～7 月頃）：6 カ所
五反田文化センター、区立中学校・義務教育学校 5 校
（大崎中、鈴ヶ森中、富士見台中、荏原第一中、伊藤学園）

2. 今後の予定

- ・ 30 年度：5 カ所
区立中学校・義務教育学校 5 校
（東海中、浜川中、荏原第五中、品川学園、豊葉の杜学園）

3. 既設

- ・ 27 年度：1 カ所
J R 大井町駅前
- ・ 28 年度：6 カ所
J R 西大井駅前、区立中学校・義務教育学校 5 校
（戸越台中、荏原第六中、日野学園、八潮学園、荏原平塚学園）

◇事業予算 2, 1 1 2 千円

(内訳)	植栽等の購入費用	87 千円
	非核平和の説明用看板の作成・設置費用	1, 429 千円
	植栽設置準備および植込作業委託費用など	596 千円

カンナの花

原爆投下から 1 カ月後の広島の爆心地に咲いたことから、「平和を象徴する花」と呼ばれている。



J R 大井町駅西口
(平成 27 年 5 月)



J R 西大井駅
(平成 28 年 6 月)

問い合わせ：総務部 総務課長 電話 03-5742-6623

「宇宙と生命」をテーマに恐竜も登場「五反田宇宙ミュージアム」

◇事業目的

品川区が「誕生」して 70 周年を迎えることにちなみ、プラネタリウムがある五反田文化センターを会場に、平成 29 年度は「宇宙と生命」をメインテーマとして「五反田宇宙ミュージアム」を開催する。最近の宇宙科学の成果や恐竜について展示することで、子どもたちに生命の謎や魅力について興味を持ってもらう。また、宇宙についての様々なトピックを紹介することで、宇宙に対する大きな夢やチャレンジ精神を持つ子どもたちを育む。

◇事業内容

平成 27 年度より新規事業として開催してきた「五反田宇宙ミュージアム」を、29 年度も様々な趣向を凝らして開催する。

1. 開催期間 9 月 4 日（月）～9 月 10 日（日）
2. 内 容
 - (1) 基調講演 宇宙・天文・生命に関連した講師を招へい
※平成 28 年度の講師は宇宙飛行士の山崎直子氏
 - (2) 企画展示 「宇宙・生命・恐竜展」（仮）
 - (3) 体験展示 「恐竜ライブイベント」「ミニプラネタリウム」
「隕石に触れてみよう」など
 - (4) プラネタリウム 企画展示関連特別投影、無料特別プログラム
 - (5) 天体観望会 天体観察
 - (6) ワークショップ 手作りロケットの飛行、真空実験など
 - (7) 五反田星カフェ 宇宙にちなんだお弁当や軽食、ソフトドリンク等の販売
 - (8) その他 宇宙グッズの販売、宇宙食の試食コーナーなど

◇事業予算 5, 9 7 0 千円

(内訳)	基調講演・企画展示・体験展示・ワークショップ等	5, 457 千円
	プラネタリウム特別投影・観望会	54 千円
	広報・サイン等	459 千円

平成 28 年度開催時の様子



宇宙飛行士の山崎直子氏



展示の様子



ワークショップ(手作りロケットの飛行)

問い合わせ：文化スポーツ振興部 文化観光課長 電話 03-5742-6834